

第 2 学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 グループ会議の達人になろう
学習材「あそびのやくそくを話し合おう」（東京書籍 2 年下）

2 単元について

- 本学級の児童は、これまでの国語の学習で、一対一で互いの話をよく聞いて質問したり応答したりする活動や、少人数で事柄を順序立てて話したり、大事なことを落とさずに集中して聞いたりする活動、さらには話し手に質問をしたり感想を述べたりする活動を経験している。話し合い活動の経験としては、グループ単位で、「みんなで遊ぶ日」の遊びを何にするかなど、簡単な議題について話し合う経験は普段からしている。その際、グループの中で、話し合いを始める役割、聞き出す役割、広げる役割、ほめる役割、まとめる役割などで分担しているため、話し合いの大体の流れは身につけていると言える。また、学級全体の話し合いとしては、学級活動の中に位置付けた学級会で、児童が議長や書記などの役割を担い、話し合い活動を進めていく経験はある。しかし、話し合いの中で話題がそれたり、友だちの考えをよく聞かずに考えを述べたために意見が重複したりするなどして時間が掛かってしまうという問題がよく起こっている。もっと上手に話し合って決めたいと、切実に願っている児童も多い。

本単元の学習で、「上手に話し合うポイントをさぐって練習し、グループ会議の達人になろう。」という学習課題を設定している。話し合いの目的を共有することで、今後の児童の話し合い活動に生かされていくと考える。

- 本単元は、みんなで仲良く活動（遊び）ができるように、活動（遊び）の約束についてグループで話し合って考えをまとめる言語活動（尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動 A（2）（イ）を設定している。2 年生の児童にとって、話し合いによって 1 つの結論に絞って決めることは難しい。そこで、出し合った意見について話し合って考え、全員が納得するものを集めてまとめるという話し合いを設定している。議題は、話し合ってよかったと思えるものを設定し、話し合った結果が今後の生活に生かされるようにする。

単元を見通して、資質・能力の育成を目指したい。主体的に学習に取り組めるように、学習計画を児童と共に立てたり、必要に応じて学習計画を見直したりしていく。さらに、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりできるように、対話の場面を必要に応じて（対話の必然性を持たせて）設定していくようにする。また、深い学びとするために、教師が教える場面と児童が考える場面を区別し、単元を通して身に付いた力を振り返り自身の学びや変容を自覚できる場面を設定する。

- 本単元では、全員で仲良く遊べるように、遠足の様々な場面の約束についてグループで話し合って考えをまとめる言語活動を位置付ける。

具体的には、以下の①～⑤の手順で進めていく。

- ① 遠足では楽しく過ごしたいという思いから、上手に話し合いたいという切実感を持たせる。
- ② 話し合いの模範的な例を示し、「上手に話し合う」ということはどのようなことかを考えさせる。
- ③ 「上手に話し合うポイント」を 1 つずつ意識して実践させ、そのよさを実感させる。
- ④ 「上手に話し合うポイント」を全て意識しながら、グループで話し合う。
- ⑤ 話し合いを振り返り、身に付いた力を自覚させる。

第一次では、遠足があること、2 年生が 1 年生をリードして班活動を行っていくことを伝える。事前にグループ会議で話し合っておくべき内容も多くあることから、「上手に話し合うポイントを知って練習し、グループ会議の達人になろう」という学習課題を設定する。これにより、以降の学習の見

通しを持たせ、学習計画を立てていく。

第二次では、まず、「上手に話し合う」ということはどのようなことかを考えさせたい。教科書に模範的な話し合いの例が示されているが、そのよさに気付かせるために、改善の余地が残る話し合いの例も対比的に示す。児童の普段の話し合いの様子が想起できるような内容とし、「上手に話し合えるようになりたい」という意欲を高めたい。また、「上手に話し合うポイント」を可視化し、「グループ会議の達人」に一步步近づくイメージを持たせるようにする。「上手に話し合うポイント」を1つずつ習得し、最終的には、複数のポイントを意識しながら話し合えるようになることを目指していく。なお、話し合いを想起させるための手立てとして、レコーダーを用いる。

第三次では、「上手に話し合うポイント」やそのよさ、また、実行できたかどうかなどについて振り返るチェックシートを準備し、単元で身に付けた力を児童自身が確かめられるようにする。また、今後の話し合いでも、身に付けた力を生かしていくように促していく。

3 単元の目標

互いの考えをよく聞いて、話題に沿って話し合い、グループの考えをまとめることができる。

(話すこと・聞くこと オ)

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
・相手の話に興味を持ち、話題に沿って進んで話したり聞いたりしようとしている。	・「上手に話し合うポイント」を考えながら、話題に沿って話したり聞いたりしている。 (オ)	・「上手に話し合うポイント」を用いて話し合いを行うことの有用性や意義について気付いている。(イ(ア))

5 指導と評価計画（全7時間）

次	時	主な学習活動（○）	指導上の留意点（・）	評価規準と評価方法（[]）
一次	1 時 目	<p>○間近に迫った遠足では、2年生が1年生をリードして班行動を行っていくことを知る。</p> <p>○遠足のためにいくつか話し合っ て決めることがあることを知る。</p> <p>○「みんなで遊ぼう」の日に、遊び や遊びのルールを決めたときの ことを想起する。 (児童の発言例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間が掛かった。 ・決めたことが守られないことが あった。 <p>○学習課題を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足が間近に迫っていることと、メインとなるテーマパーク内の班行動では2年生が1年生をまとめていくことを伝える。 ・事前にグループ会議で話し合っておくべき内容があることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>行動班のめあて テーマパーク内での班行動の約束 テーマパーク内の活動の順番 見学地(パン工場)での見学の約束 バスの中での約束 バスの中で行う遊び など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験で、話合いがうまくいかなかったことを想起させ、年に一度だけの遠足であることを鑑み、学習課題に迫らせる。 ・児童が意欲を持続できるように、単元のゴールと見通しを持たせる。 	<p>相手の話に興味を持ち、話題に沿って進んで話したり聞いたりしようとしている。</p> <p>【関】 [学習活動の観察]</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>学習課題 「上手に話し合うポイント」をさぐって練習し、グループ会議の達人になろう。</p> </div> <p>○学習計画を立てる。 (児童の発言例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「上手に話し合うポイント」を知る。 ・話合いの練習をする。 ・グループ会議をする。 ・振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習を進められるように、児童の発言を取り上げながら学習計画を立て、学習のゴールまでの見通しを持たせる。 	

	<p>2 時 目 (本 時)</p>	<p>○話し合いの流れを確認し、「上手に話し合うポイント」はどのようなことかを、教科書等の例を基に考える。</p> <p>話し合いの流れ</p> <p>①一人一人の考えを出し合う。 ②みんなの考えをまとめる。 ③決めたことを確かめる。</p> <p>上手に話し合うポイント</p> <p>①話し手は考えと理由を話す。 ②分からないことは質問する。 ③似ている考えは1つにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの流れ(順序)については、普段の経験から想起させ、教科書を基に確かめさせる。 「上手に話し合うポイント」については、模範となる例と改善の余地が残る例を示し、比較して考えさせる。 自分たちの普段の話し合いの様子を想起させ、できていることとできていないことを自己評価させる。 前時に立てた学習計画の「練習する」の部分について、何を練習していく必要があるかを確認させ、主体的な学びにつなげる。 	<p>話題に沿って話したり聞いたりするために、「上手に話し合うポイント」を考えている。</p> <p>【話聞】</p> <p>[ノートへの記述の分析]</p>
<p>二 次 深 め る</p>	<p>3</p>	<p>○「上手に話し合うポイント」①②③にふさわしい議題を選ぶ。</p> <p>○「上手に話し合うポイント」①の「話し手は考えと理由を話す」を意識して、グループで話し合う練習をする。</p> <p>○考えと理由を話すことのよさについてグループで考え、全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学びとなるように、「上手に話し合うポイント」①②③にふさわしい議題を選ばせる。 「わたしは、～と思います。どうしてかという～だからです」という例文を示す。 レコーダーを用いて振り返りをさせることで、自分の話し方を客観的に見直させる。 考えと理由を話すことのよさについて考えさせることで、学びの意義を実感させる。 	<p>「上手に話し合うポイント」①を考えながら、話題に沿って話したり聞いたりしている。</p> <p>【話聞】</p> <p>[学習活動の観察] [ワークシートへの記述の分析]</p>
	<p>4 ・ 5 時 目</p>	<p>○本時のめあてにふさわしい議題を選ぶ。</p> <p>○「上手に話し合うポイント」②の「分からないことは質問をする」を意識して、グループで話し合う練習をする。</p> <p>○質問することのよさについてグループで考え、全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時のめあてを確認し、ふさわしい議題を選択させ、意欲を持たせる。 分からないことを尋ねるとき、理由を尋ねるときなど、いくつかの例文を想起させることで、質問することの意義を実感させる。 レコーダーを用いて振り返りをさせることで、自分の話し方を客観的に見直させる。 分からないことを質問することのよさについて考えさせることで、学びの意義を実感させる。 	<p>「上手に話し合うポイント」②を考えながら、話題に沿って話したり聞いたりしている。</p> <p>【話聞】</p> <p>[学習活動の観察] [ワークシートへの記述の分析]</p>

	<p>○本時のめあてにふさわしい議題を選ぶ。</p> <p>○「上手に話し合うポイント」③の「似ている考えは1つにする」を意識して、グループで話し合う練習をする。</p> <p>○似ている考えを1つにまとめることのよさについて、グループで考え、全体で共有する。</p>	<p>・本時のめあてを確認し、ふさわしい議題を選択させる。</p> <p>・「～と～は似ているので1つの約束にできると思います」という例文を確認する。</p> <p>・レコーダーを用いて振り返りをさせることで、自分の話し方を客観的に見直させる。</p> <p>・似ている考えを1つにまとめることのよさについて考えさせることで、学びの意義を実感させる。</p>	<p>「上手に話し合うポイント」③を考えながら、話題に沿って話したり聞いたりしている。</p> <p>【話聞】 [学習活動の観察] [ワークシートへの記述の分析]</p>
6 時 目	<p>○本時のめあてにふさわしい議題を選ぶ。</p> <p>○「上手に話し合うポイント」①②③を意識して、ルールについて話し合う。</p> <p>○話合いの様子を再生して聞き、「上手に話し合うポイント」①②③ができたかどうかを振り返る。</p>	<p>・本時のめあてを確認し、ふさわしい議題を選択させる。</p> <p>・「上手に話し合うポイント」をワークシートにまとめ、再生して聞きながら3つのポイントを振り返る。</p> <p>・レコーダーを用いて振り返らせ、3つのポイントが達成できたかどうか、チェックシートに記入させる。</p>	<p>「上手に話し合うポイント」①②③を考えながら、話題に沿って話したり聞いたりしている。</p> <p>【話聞】 [学習活動の観察] [ワークシートへの記述の分析]</p>
三 次 ま と め る	<p>○単元を振り返り、話合いをして気付いたことや、話し合っよかったと思ったことを伝え合う。</p>	<p>・「上手に話し合うポイント」やそのよさ、実行できたかどうかなどについて振り返らせるために、ワークシートを準備する。</p> <p>・自分に付いた力や、一緒に話し合った友達のよいところなどを伝え合わせ、この単元で身に付けた力を自覚させる。</p>	<p>「上手に話し合うポイント」を用いて話合いを行うことの有用性や意義について気付いている。</p> <p>【言】 [学習活動の観察] [ワークシートへの記述の分析]</p>

6 本時について (2 / 7)

(1) 本時の目標

話し合う時の上手な発言の仕方や上手な話の聞き方を考えることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援 (○)・評価 (◆) C の状況にある児童への手立て (→)
つかむ	1 前時に立てた学習計画表から、本時のめあてを確認する。	○本時の学習にスムーズに導入できるように、1 時間目に立てた学習計画を振り返らせ、本時のめあてにつなげる。
	めあて グループで「上手に話し合うポイント」を考えよう。	
見通す	2 本時の学習の流れをつかむ。 一人→みんな	○話し合いの例を聞き、「上手に話し合うポイント」について各々が考えられるように、一人で書いた後に、みんなで確認するという学習の手順を伝える。 ○模範となる例と改善の余地が残る例の 2 つを示すことで、よさに気付かせる。
考える	3 話し合いの例を聞き、「上手に話し合うポイント」を考える。 一人でタイム 「上手に話し合うポイント」を、箇条書き(短い言葉)でノートに書く。 みんなでタイム 「上手に話し合うポイント」について、ノートに書いたことを発表する。	○代表の児童に、模範となる話し合いの役割演技をさせる。 ○児童の一人でタイムの様子を見ながら、二人でタイム(ペア対話)を設けることで、自信を持って考えを書けるようにする。 ○できるだけ多くの児童に発言させるために、「同じ(似ている)ことを書いた人?」と問い掛け、同じ(似ている)ことでも繰り返して発言をさせる。また、「どこの部分から上手だと思ったのか」「なぜ上手だと思ったのか」等、1 つのポイントについて詳しく掘り下げる。 ○「なぜ上手だと思ったのか」については、実際に話し合ったときに実感する場合もあるので、軽く問い掛ける程度とする。
考え合う		◆話し合う時の上手な発言の仕方や上手な話の聞き方を具体的に考え、ノートに書いている。 【話聞】[ノートへの記述の分析] →板書を振り返らせ、大事だと思ったことに印を付けさせる。
まとめる	4 ノートに「上手に話し合うポイント」をまとめる。	○板書を振り返りながら、「上手に話し合うポイント」を整理するために、ナンバリングして板書する。 ※引き出したい考え ①意見を言うときは、理由を付けて話す。 ②分からないことは、きちんと質問をする。 ③似て言う考えは、1 つにする。
振り返る	5 本時の学習を振り返り、次時の学習を確かめる。	○学習計画の「練習する」の部分が具体的にできるように、学習計画表に書き加える。 ○次時は「上手に話し合うポイント」を 1 つずつクリアできるように、実際に話し合っていくことを学習計画表で確認する。